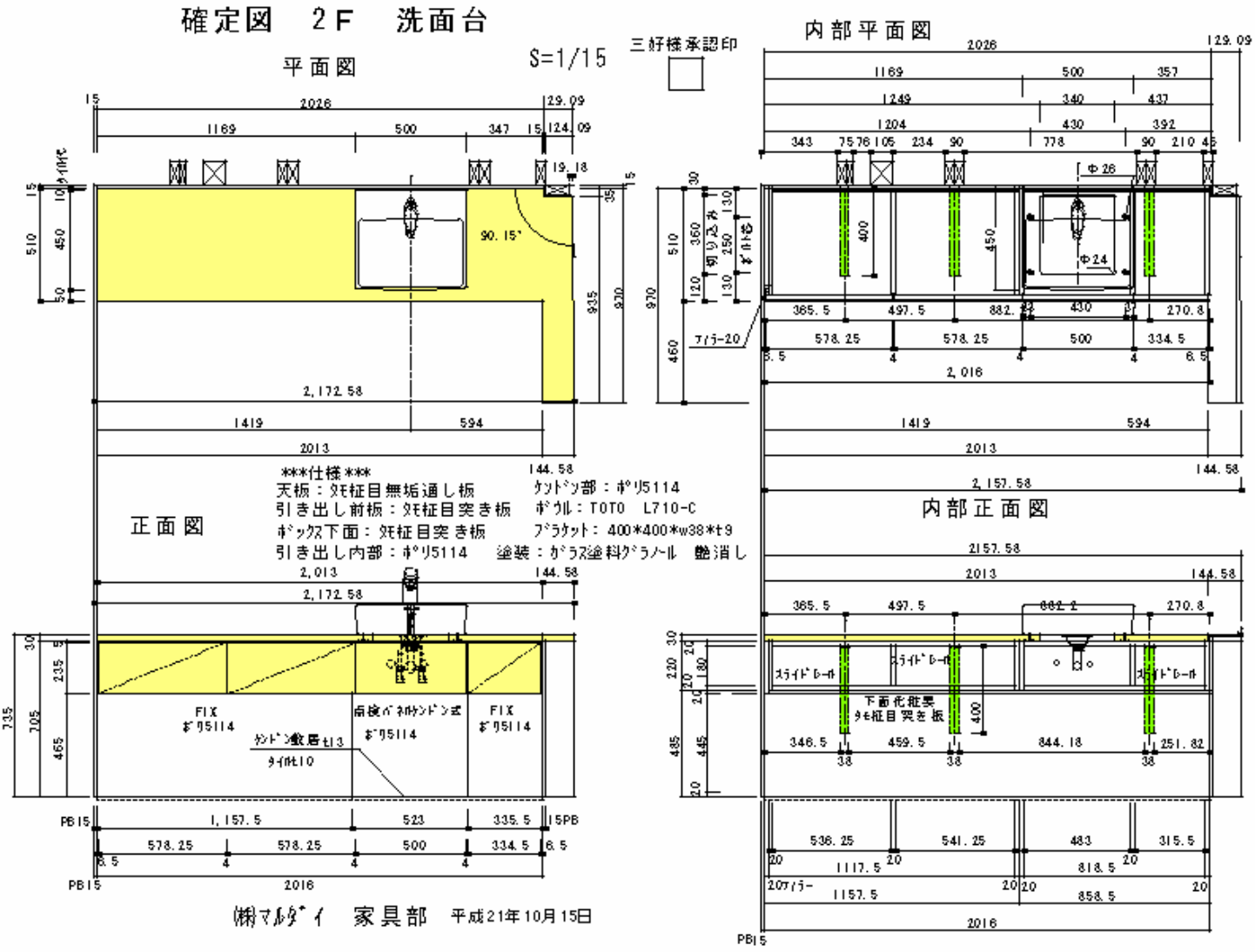
タモ材の洗面台とトイレ手洗いについて

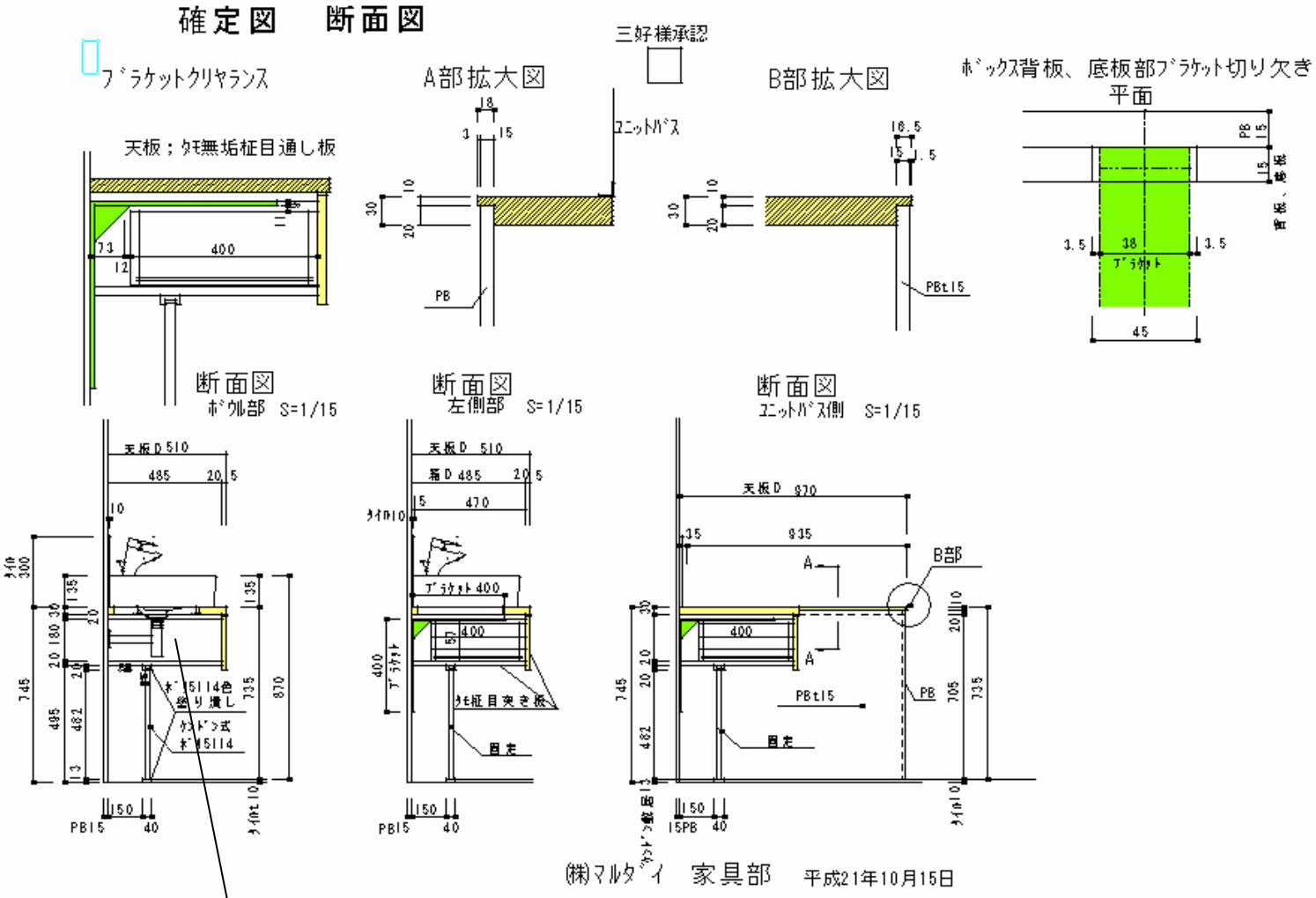
今回は、タモの杢目を生かした洗面台とトイレ手洗いの施工例です。そして、洗面台は天板：タモ無垢材柾目、引き出し前板：タモ柾目突板でトイレ手洗いはタモ突板で板目目方向違いの貼り分けです。

１．　洗面台

右側に浴室の FIX　ガラスの SUS 枠あり、その枠にタモの天板をはめ込んで納める条件があります。そこで、洗面部壁と浴室側 SUS 枠の角度を採寸し、天板を剥ぎ加工して１枚物として納めることにしました。ブラケット位置は仕切り板に干渉しない間柱にブラケット取付桟を固定し取り付け位置を確定しました。

仕様
天板：ﾀﾓ柾目無垢通し板
引き出し前板：ﾀﾓ柾目突き板
ﾎﾞｯｸｽ下面：ﾀﾓ柾目突き板
塗装：ｶﾞﾗｽ塗料ｸﾞﾗﾉｰﾙ　艶消し
引き出し内部：ﾎﾟﾘ5114
ｹﾝﾄﾞﾝ部：ﾎﾟﾘ5114
ﾎﾞｳﾙ：TOTO　L710-C
ﾌﾞﾗｹｯﾄ：400*400*w38*t9





このスペースでの配管はなかなか大変な作業と思われる。水道屋さんが苦労したようでした。

洗面台側

浴室側 SUS 枠カネ折り

採寸時状況。
この後、間柱、柱にブラケット取付桟を固定し、取付準備をする。

ブラケット固定状況で、ブラケット火打ち
ピース分当たらぬように引き出し奥行きを
調整している。（余裕代 12mm）

引き出し状況でボウル部は FIX です。

天板：タモ剥ぎ加工。
柾目通し板
引出前板：タモ柾目突板
4 枚目合わせ。
塗装:ガラス塗料
グラノール全消し

ボウル下部：ケンドン式点検口。

ケンドン取付時

洗面台全景。

天板のタモ通し板の柾目と引出前板の柾目が落ち着いた雰囲気を感じさせます。

2.トイレ手洗い

天板は人工大理石でボウル一体型とし、箱型で製作し、人工大理石天板の受け枠を合板で用意し、下部のキャビネットと２分割としました。

そこで、キャビネットの扉部と側板部にタモ突板の貼り分けがあります。

仕様

ボウル：アイカハイマックスHMB1001S06

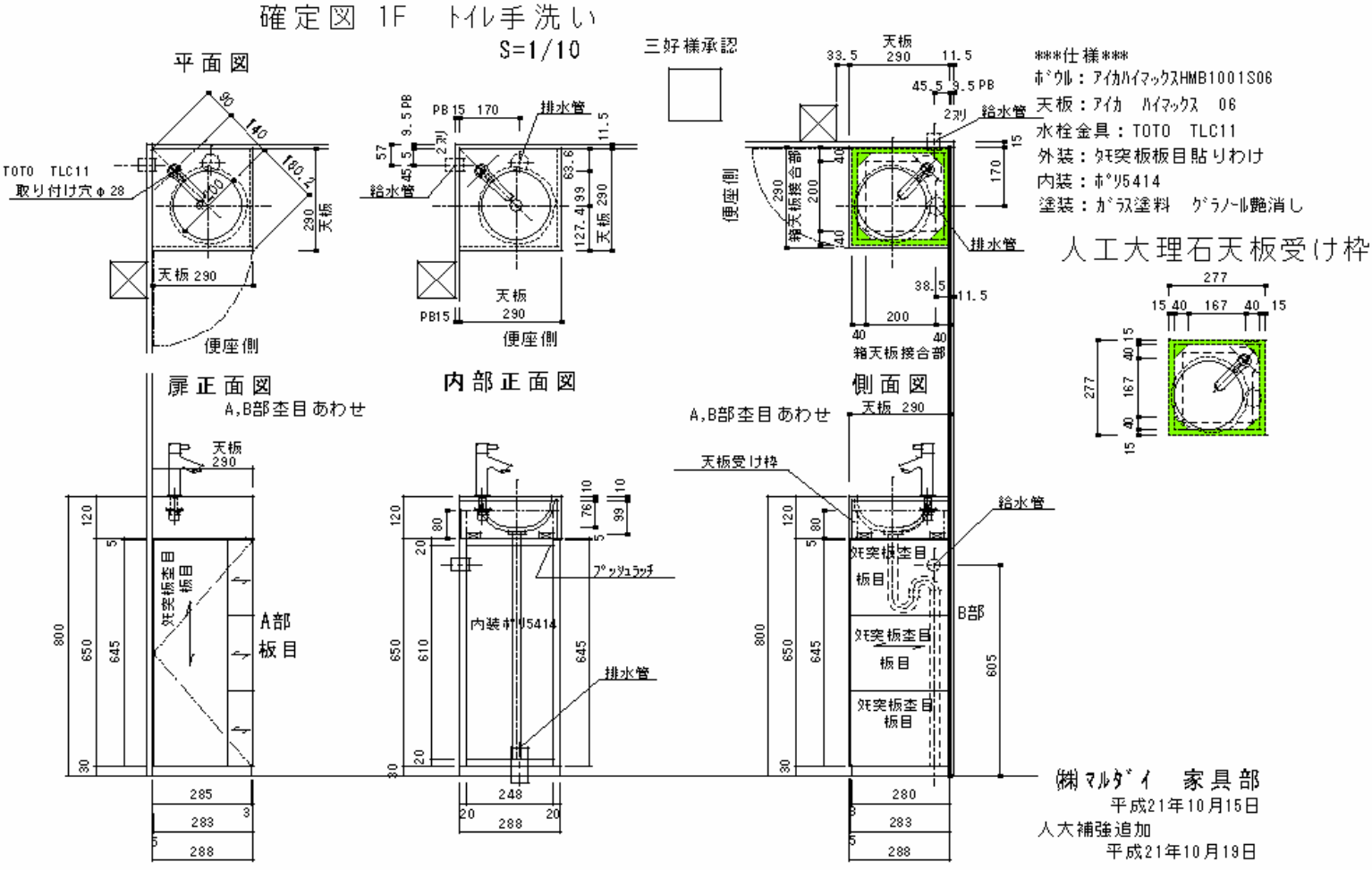
天板：アイカ　ハイマックス　06

水栓金具：TOTO　TLC11

外装：タモ突板板目貼りわけ

内装：ポリ5414

塗装：ガラス塗料　グラノール艶消し



施工順序　１．下部キャビネットの取り付け。

２．天板受け枠とキャビネットを固定。

３．人大に水栓金具を仮付けし、問題なければ水栓金具をはずして人大と受け枠を接着する。そして、再度水栓金具を取り付け配管する。

扉部のタモ板目貼り分け

キャビネット右側板の
タモ板目横貼り

扉と右側板小口 45°加工。
プッシュラッチ。

プッシュラッチのため、閉じても最低 3mm 程度の隙間あり。

トイレ手洗い全景です。

かなりコンパクトなトイレ手洗いでした。

㈱マルダイ　家具部　Da・Monde　鈴木
平成 22 年 1 月 6 日